

DF技術部会瓦版第43号

発行:2017年6月20日 世話役:立石 裕夫 副世話役:成田 嘉宏
編集・文責:成田 嘉宏



例会 6月12日(月)

13時30分:例会 東京ウイメンズプラザ …… 出席者 30名

17時:懇親会 傳八 青山 …… 出席者 20名(含む矢倉先生)



【目次】

活動報告 立石 裕夫 世話役
新しい仲間のご紹介 新宮 清志 会員
事務局連絡 小林慎一郎 アカデミー事業部長

分科会活動報告

- ・理科実験グループ 神永 剛 会員
- ・経済・産業懇話会 浅野 応孝 会員

講話 「リスクセンス」 梅里 泰正 会員

講話 「高齢者を中心とした整形外科的疾患の現状と日常生活について」

---主に腰痛と関節痛を中心に---

昭和大学病院 整形外科 矢倉一道 氏

次回例会のご案内

編集後記(世話役、編集者)



活動報告 立石世話役

立石世話役から、今年度ミッションを確認した後、以下の報告がありました。

1. 活動報告

・4 月例会

1) 参加 30 名(懇親会 19 名)

2) 講話「社会人大学で MOT 教育を経験して」 (山岡 斉会員)

講話「高齢者の社会生活における諸問題及び家族が抱える問題

—健康・経済・家族及び地域社会での生活の現状—(佐藤 和恵会員)

・会計報告

2. 新入会員 新宮 清志会員の紹介。

3. 工場見学会

例年秋に実施する工場見学会を、今年度はブリヂストンご出身の原田忠和さん、原秀男さんのご尽力により、ブリヂストン栃木工場、テストコースの見学会を実施します。

ブリヂストン社が受け入れ可能な 10 月 23 日(月)、11 月 14 日(火)について別途アンケートを取ります。

4. FaceBook の利用について

会員間の情報共有、情報発信の場として、FaceBook 上に非公開グループ「DF 技術部会」を作成し、試運転中(現在のメンバーは、8 名)。

立石世話役の説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。

新しい仲間のご紹介

新宮清志会員からは、次の自己紹介を頂いています。どうぞ、よろしくお願いたします。

学歴等:

1946 年1月 島根県出雲市生まれ(71歳)

1970 年3月 日本大学大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程修了

1974 年3月 日本大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程単位取得退学

職歴:

日本大学 助手(理工学部建築学科):1974/04~1980/03

日本大学 専任講師(理工学部海洋建築工学科):1980/04~1985/03

日本大学 助教授:1985/04~1993/03



カーネギーメロン大学 客員研究員:1985/07～1986/06

ウィスコンシン大学 客員研究員:1986/06～1986/08

日本大学 教授:1993/04～2012/03

日本大学 特任教授:2012/04～2013/03

日本大学 上席研究員:2013/04～現在

日本大学 名誉教授:2013/06/13～現在

総合資格学院、総合資格 顧問:2015/08～2016/10

総合資格学院、総合資格 特別顧問:2016/11～現在

専門:

シェル構造、軟着底式海洋構造、情報科学

著書(共著):

- ・「建築・都市・環境デザインのためのモデリングと最適化技術」(日本建築学会編、丸善出版、2015)
- ・「建築形態と力学的感性」(日本建築学会編、丸善出版、2014)
- ・「実践 やさしくわかる建築・都市・環境のためのソフトコンピューティング」(日本建築学会編、丸善出版、2009)
- ・「シェル・空間構造の減衰と応答制御」(日本建築学会編、丸善出版、2008)、 など 30 数冊。

趣味:

社交ダンス、写真、散策、旅行(訪問国:約 40 カ国)

家族(別世帯も含む):

妻、息子4人、孫4人(男:2人、女:2人)

生活信条のようなもの:

1)いつまでも向上心を忘れない、2)物事を楽しむ、3)生涯現役、4)少しでも社会貢献

資格等:

工学博士、一級建築士、日本建築学会終身正会員、日本工学会フェロー、土木学会フェロー、日本知能情報ファジィ学会名誉会員、上級教育士(工学・技術)

受賞:

- ・日本ファジィ学会論文賞
- ・東京工業大学応用セラミックス研究所 所長賞(研究業績部門)
- ・日本計算工学会学会賞(功績賞)
- ・日本計算力学連合フェロー賞、など。

学会歴:

<日本建築学会>

副会長、監事、関東支部長(理事)、代議員、関東支部常議員、東日本大震災調査復興支援本部副本部長、情報システム技術委員会委員長、社会ニーズ対応推進委員会委員長、情報委員会委員長、学術推進委員会委員長、歴史的な大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別研究委員会

委員長、など。

<日本ファジィ学会>

理事、監事、評議員 など。

役所関係歴:

<国土交通省>

大臣官房 建設技術研究開発助成制度評価委員会 委員

<文部科学省>

科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 専門調査員

事務局連絡 小林アカデミー事業部長

保坂事務局長所用で欠席のため、小林慎一郎アカデミー事業部長より以下のお話 がありました。

- 7月18日(火)15:00-18:00 講演交流会への出席要請。
 - ・テーマ:経済と安全保障—歴史と理論の視点から—
 - ・講師:防衛省防衛研究所 小野圭司 防衛政策研究室長
- 10月26日に開催されるDF 発足15周年記念総会の出展概要について。
 - ・出展場所;学士会館201,202号の間のスペースに8つの研究会、同好会より、活動の紹介を展示する。
- モンゴル研究会
 - ・モンゴルへの支援活動;モンゴル母子家庭のカシミア製品の購入・会員への販売
 - ・モンゴル留学生の日本就職先をパソナが支援
- 観光立国研究会
会員が執筆し文芸社から”日本再発見紀行“が刊行され、全国有名書店、アマゾンで購入できる。
- 関西支部設立活動進捗中。ボランティアによる社会貢献活動が主体の予定。
- 名古屋での活動拠点構築を模索中。ビジネス主体の予定。
- 5月14日に日本ビルに移転したDF 新オフィスについて
 - ・八重洲の事務所より、やや、手狭で賃借料は、八重洲の月約140万円よりアップの予定
 - ・会議室の予約方法について詳細説明があった。



分科会報告

1) 経済・産業懇話会 浅野リーダーより以下の報告がありました。

・5月は、今村哲也さんより「界面の世界の無限の広がり」の表題で講演して頂きました。

・今後の予定は；6月は飯田孝司さんに「日本は原子力を推進すべきかーエネルギーの将来を考えるー」7月は、望月直躬さんに「2017年の見通し トランプの滑り出しから」8月は、技術部会と合同でバイオベンチャーの㈱セルシード社長橋本せつ子会員の講演を予定しています。

浅野リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



2) 理科実験グループ 神永 剛リーダーより次の報告がありました。

・2017年1Qのイベントは35回（昨年比-3）、

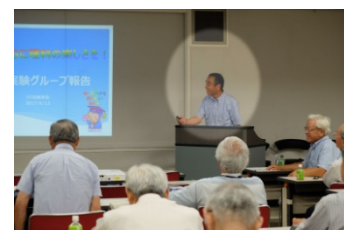
現状予定されている2017年のイベント数138回で昨年(151回)同様のペース。

・現在会員数74名 ・テーマ数17

・学研プラス出版の「開け！科学の扉」第3巻に33ページのDF理科実験特集が生まれ、テーマの紹介、メンバーの感想が掲載され、5月末に発行された。

・50年以上の歴史を有する少年写真新聞社よりDFの理科実験教室について寄稿依頼があり、7月8日号と8月8日号に掲載され、全国の子供たちに紹介される。

神永リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



講話「リスクセンス」（梅里 泰正会員）

梅里 泰正会員は、リスクセンス研究会発足当初からその活動をサポートされてきましたが、今一つ、「リスクセンス方式」について技術部会会員の理解が浸透していない状況に鑑み、今回、表題テーマの講話を戴きました。「リスクセンス方式」とは、“組織が健全であるか否かをチェックするシステム”であるという定義に始まり、多角的な観点から同方式の重要性について説明頂き、会員の理解が深まり、今後、会員が企業支援などで活かせる有意義な講話でした。

梅里 泰正会員の講話資料は、[こちら](#)をご覧ください。

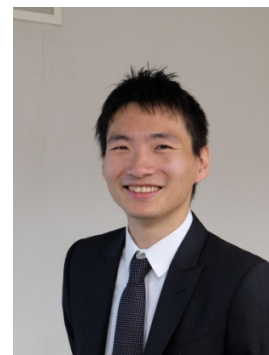
また、現在横浜国立大学との協業の話が持ち上がっています。[こちら](#)の資料をご参照ください。



講話「高齢者を中心とした整形外科的疾患の現状と日常生活について —主に腰痛と関節症を中心に—

(昭和大学病院 整形外科 矢倉一道先生)

佐藤先生のご紹介で矢倉一道先生より、会員に関心の高い表題テーマについて、多数の事例とその防止策について、説明頂き、会員の健康寿命を延ばすために参考になる講話でした。[こちらの](#)講話資料をご覧頂き、日常生活の参考にされることをお勧めいたします。



今後の技術部会のお知らせ

2017 年度第 4 回以降の定例会は、以下の通りです。多数の会員の皆様のご出席をお待ちしております。

- ・第 4 回 8/21 会場;ウイメンズプラザ
産業懇話会との合同で 講話;「再生医療の現状と産業化への課題点」
株式会社セルシード 代表取締役社長 橋本せつ子様
- ・第 5 回 10 月 23 日(月)or 11 月 14 日(火)
株式会社 ブリヂストン 栃木工場見学
- ・第 6 回 12 月 15 日(金) 昭和大学 部会終了後忘年会

編集後記

今回の講話は、梅里さんによる「リスクセンス」のお話しでした。以前より、私はこのリスクセンスという研究分野は私共ディレクトフォースにとって、社会貢献ができる分野なのではないかと考えていました。梅里さんにその旨お話しして講話をお願いし、ご快諾を頂いた次第です。梅里さんにはご負担をおかけしたのではないかと恐縮に思っています。梅里さんの講話のおかげで、リスクセンスを全体として理解することができました。現在、横浜国大との協業の話も持ち上がっておりますので、何らかの形で成果が出るように努めたく考えています。

世話人 立石裕夫

今年度の技術部会も、3 回目を終え、過ぎゆく”とき”の早さに戸惑いを感じております。
赤堀さんの肝いりで昨年度から始まった医療懇話会企画のテーマは、会員の皆さんの関心が高く、
今回の矢倉先生の高齢者の整形外科疾患も日常生活を送る上で大変、参考になりました。
次回の講話を楽しみにしております。

編集文責 成田 嘉宏

以上